

( 1 ) 実施機関名：

気象庁

( 2 ) 研究課題(または観測項目)名：

火山現象に関する基礎データの蓄積と活用

( 3 ) 関連の深い建議の項目：

5 研究を推進するための体制の整備

(3) 研究基盤の開発・整備

工. 地震・火山現象のデータベースの構築と利活用・公開

( 4 ) その他関連する建議の項目：

3 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究

(3) 地震・火山噴火の災害誘因予測を災害情報につなげる研究

火山

5 研究を推進するための体制の整備

(2) 総合的研究

工. 桜島大規模火山噴火

オ. 高リスク小規模火山噴火

(3) 研究基盤の開発・整備

ウ. 地震・火山現象のデータ流通

( 5 ) 総合的研究との関連：

桜島大規模火山噴火

高リスク小規模火山噴火

( 6 ) 平成 30 年度までの関連する研究成果(または観測実績)の概要：

全国の 50 活火山について、全国 4 か所の火山監視・警報センターにおいて、地震計、空振計、GNSS 等の観測データを常時収集し、解析を行い、蓄積した。

全国の火山について、地震観測、GNSS 繰り返し観測、熱観測等の計画的な機動観測により得られた観測データを解析し、蓄積した。

平成 30 年度に噴火が発生した霧島山(新燃岳)、桜島、及び口永良部島のほか、火山活動の高まりがみられた吾妻山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)等において、緊急的な機動観測により収集した火山活動の詳細な観測データを解析し、蓄積した。

これらの観測データの蓄積にあたって、今後の活火山総覧の改訂に活用できるようにデータベース化した。

各種監視・観測で得られた成果は、HPで速報的に公開するとともに、噴火警報等の防災情報、火山活動解説資料等の防災目的の資料等に利用する他、火山月報(カタログ編)や火山年報等によりHPにより公表した。また、火山活動の概況を英文でとりまとめてHPにより公表した。

(7) 本課題の5か年の到達目標:

全国の活火山のうち、気象庁の常時観測火山(50火山)については観測データの収集を行い、それ以外の活火山も含めた火山機動観測班が計画的あるいは緊急的に実施する機動観測による観測データを収集し、火山現象のデータベースとしてその蓄積を図る。

これらの成果は、噴火警報等の防災情報発表や火山活動解説資料等の作成に利用するとともに、火山月報(カタログ編)や火山年報に取りまとめて公表する。

(8) 本課題の5か年計画の概要:

気象庁が常時観測を行っている50火山については、全国4か所の火山監視・警報センターにおいて、地震計、空振計、GNSS、傾斜計、監視カメラ等の常時観測データの収集、解析を行い、蓄積する。

全国の活火山については、4センターの火山機動観測班が行う地震観測、GNSS繰り返し観測、熱観測、火山ガス観測等の計画的な機動観測により得られたデータを解析し、蓄積する。また、火山活動に異常が認められた場合には、火山機動観測班が出動して行う緊急的な機動観測により収集したデータを解析し、蓄積する。

これらの観測データの蓄積にあたっては、今後の活火山総覧改訂に活用できるようにデータベース化する。

各種観測で得られた成果は、噴火警報等の防災情報や火山活動解説資料等の防災資料の作成に利用するほか、火山月報(カタログ編)や火山年報、火山活動の概況(英文)に取りまとめて気象庁HPにより公表する。

地元自治体による災害対策の意志決定を支援するため、火山防災協議会に対する観測成果の共有を進める。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名:

気象庁地震火山部・札幌管区气象台・仙台管区气象台・福岡管区气象台火山監視・警報センター  
他機関との共同研究の有無: 有

大学、防災科学研究所等の研究機関、自治体、地方整備局等の火山観測実施機関

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名: 気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長

電話: 03-6758-3900(内線: 5114)

e-mail: jmajishin\_kanrika@met.kishou.go.jp

URL: <https://www.jma.go.jp>

(11) この研究課題(または観測項目)の連絡担当者

氏名: 山本 哲也

所属: 地震火山部火山監視課